

令和4年2月

# 議案の概要

香川県広域水道企業団



# 令和4年2月香川県広域水道企業団議会定例会議案一覧

## 〔予算議案〕

第1号 令和3年度香川県広域水道企業団水道事業会計補正予算議案

第2号 令和3年度香川県広域水道企業団工業用水道事業会計補正予算議案

第3号 令和4年度香川県広域水道企業団水道事業会計予算議案

第4号 令和4年度香川県広域水道企業団工業用水道事業会計予算議案



令和3年度補正予算の概要及び令和4年度当初予算の概要

水道事業会計

1 業務量

		㉠ 令和4年度	令和3年度		増 減	
			㉡ 2月補正後	㉢ 当 初	㉣ (㉡-㉢) 2月補正後比	㉤ (㉠-㉢) 当初比
給水戸数 (千戸)		435	433	428	5	7
給水人口 (千人)		935	941	942	△ 1	△ 7
給 水 量	年間 (千m <sup>3</sup> )	124,614	125,009	124,457	552	157
	一日平均 (千m <sup>3</sup> )	341.41	342.49	340.98	1.51	0.43
有収水量	年間 (千m <sup>3</sup> )	111,207	111,241	111,293	△ 52	△ 86
	一日平均 (千m <sup>3</sup> )	304.68	304.77	304.91	△ 0.14	△ 0.23
有収率 (%)		89.2	89.0	89.4	△ 0.4Pt	△ 0.2Pt

2 予算見積  
(1) 概況

(単位：百万円)

	収 入					支 出							
	事 項	㉑ 令和4年度	令和3年度		増 減		事 項	㉒ 令和4年度	令和3年度		増 減		
			㉓ 2月補正後	㉔ 当 初	㉕ ㉓(㉔-㉓) 2月補正後比	㉖ ㉑(㉒-㉓) 当初比			㉗ 2月補正後	㉘ 当 初	㉙ ㉗(㉘-㉗) 2月補正後比	㉚ ㉒(㉓-㉗) 当初比	
収益的収支	営業収益	21,882	21,900	21,950	△ 50	△ 68	営業費用	21,583	21,639	21,505	134	78	
	(うち給水収益)	(21,775)	(21,792)	(21,843)	(△ 51)	(△ 68)	(うち減価償却費)	(8,847)	(8,964)	(8,846)	(118)	(1)	
	営業外収益	2,124	2,273	2,227	46	△ 103	営業外費用	1,267	1,371	1,165	206	102	
	(うち長期前受金戻入)	(1,548)	(1,632)	(1,605)	(27)	(△ 57)	(うち企業債利息)	(751)	(798)	(809)	(△ 11)	(△ 58)	
	特別利益	1	12	1	11	0	特別損失等	64	206	63	143	1	
	計	24,007	24,185	24,178	7	△ 171	計	22,914	23,216	22,733	483	181	
	収支差引	1,093	969	1,445	△ 476	△ 352							
資本的収支	企業債	3,896	3,279	3,324	△ 45	572	建設改良費	15,532	15,238	15,653	△ 415	△ 121	
	国庫補助金	962	1,388	1,388	0	△ 426	企業債償還金	3,630	3,586	3,586	0	44	
	他団体補助金・出資金	513	775	780	△ 5	△ 267	その他	220	45	263	△ 218	△ 43	
	その他	430	464	443	21	△ 13							
		計	5,801	5,906	5,935	△ 29	△ 134	計	19,382	18,869	19,502	△ 633	△ 120
		収支差引※	△ 13,581	△ 12,963	△ 13,567	604	△ 14						

(注) 「収支差引※」は、損益勘定留保資金等で補填

【主な増減理由】

●令和4年度当初予算（令和3年度当初予算比）

<収益的収支>

○収入（⑤）

- ・ **給水収益**68百万円の減少は、人口減少等により水需要が減少するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による供給単価の高いユーザーの需要低迷による。
- ・ **営業外収益**103百万円の減少は、他団体負担金の一部を出資制度の活用により出資金の受け入れに変更したことにより68百万円減少、長期前受金戻入が補助対象資産の減価償却完了に伴う戻入終了により57百万円減少することによる。

○支出（①）

- ・ **営業費用**78百万円の増加は、退職給付費の増加等に伴い人件費が162百万円増加、委託料が22百万円増加、修繕費が12百万円増加、材料費が21百万円減少、負担金補助及び交付金が37百万円減少、資産減耗費が15百万円減少することによる。
- ・ **営業外費用**102百万円の増加は、納税消費税が160百万円増加、企業債利息が58百万円減少することによる。

<資本的収支>

○収入（⑤）

- ・ 134百万円の減少は、事業費の減少に伴うものであり、その内訳は**企業債**が内部留保資金を確保しておくため572百万円増加、一方で**国庫補助金**が426百万円減少、**他団体補助金・出資金**が267百万円減少、**工事負担金**が51百万円減少することによる。

○支出（①）

- ・ **建設改良費**121百万円の減少は、工事請負費が358百万円増加、委託料が78百万円増加、負担金補助及び交付金が589百万円減少（**椋川ダム負担金**△446百万円（皆減）、**香川用水施設緊急対策事業費負担金**△145百万円）することによる。

●令和3年度2月補正後予算（令和3年度当初予算比）

<収益的収支>

○収入（⑤）

- ・ **給水収益**51百万円の減少は、当初見込みを上回る水需要の減少による。
- ・ **特別利益**11百万円の増加は、退職給付引当金11百万円を戻し入れすることによる。

○支出（①）

- ・ **営業費用**134百万円の増加は、減価償却費が118百万円増加、人件費について退職給付引当金積立額の増加に伴い退職給付費が103百万円増加、委託料が27百万円減少することによる。
- ・ **特別損失等**143百万円の増加は、退職給付引当金の積立不足143百万円を積み立てることによる。

<資本的収支>

○収入（⑤）

- ・ 29百万円の減少は、事業費の減少に伴い**企業債**が45百万円減少、**他団体補助金・出資金**が5百万円減少、一方で**負担金**が21百万円増加することによる。

○支出（①）

- ・ **建設改良費**415百万円の減少は、工事請負費が339百万円減少、委託料が80百万円減少することによる。
- ・ **その他**218百万円の減少は、消費税相当額の補助金返還金が218百万円減少することによる。

(2) 財務

項 目	年度末残高見込み (百万円)		給水収益比	
	令和4年度	令和3年度 (2月補正後)	令和4年度	令和3年度 (2月補正後)
企業債残高	54,259	53,994	2.74	2.73
内部留保資金	17,851	22,392	0.90	1.13

(注) 区分経理満了時に遵守すべき財政収支の目標値

企業債残高／<sup>\*</sup>給水収益 3.5倍以内

内部留保資金／<sup>\*</sup>給水収益 0.5程度

<sup>\*</sup>は、広域送水管理センター（旧県営水道）の給水収益（他の事業体の受水費相当）を除く。



### 3 主要施設整備事業

#### (1) 概況

(単位：百万円)

		① 令和4年度	令和3年度		増減	
			② 2月補正後	③ 当初	④ (②-③) 2月補正後比	⑤ (①-③) 当初比
事業費※	広域水道施設整備事業	1,965	1,637	1,640	△ 3	325
	経年施設更新整備事業	9,632	9,132	9,294	△ 162	338
	水道水源開発施設整備事業	0	446	446	0	△ 446
	その他建設改良事業	2,838	2,799	3,073	△ 274	△ 235
計		14,435	14,014	14,453	△ 439	△ 18
財源	国庫補助金	962	1,342	1,342	0	△ 380
	(うち生活基盤施設耐震化等交付金)	(962)	(1,205)	(1,205)	(0)	△ 243
	企業債	3,896	3,279	3,324	△ 45	572
	他団体出資金	418	596	565	31	△ 147
	他団体補助金	95	179	215	△ 36	△ 120
	その他	430	464	443	21	△ 13
自己財源	8,634	8,154	8,564	△ 410	70	

- (注) ・「事業費※」の対象は、委託料、工事請負費、賃借料、路面復旧費、材料費、用地費及び補償金、負担金補助及び交付金とする。  
 ・「その他建設改良事業」には、システム関連費用を含まない。  
 ・事業費のうち「その他建設改良事業」には、香川用水施設緊急対策事業費負担金を含む。

令和4年度（経年施設更新整備事業の主な事業内容）

ブロック名等	事業内容
東 讃	管路の更新
小 豆	管路の更新
高 松	管路の更新、浄水施設の更新、送水施設の更新
中 讃	管路の更新、浄水施設の更新・耐震化
西 讃	管路の更新
広域送水管理センター	管路の更新、浄水施設の更新・耐震化

(2) 施行計画 (令和4年度 主なもの)

① 広域水道施設整備事業

(単位：百万円)

ブロック名	施 行 計 画 等	事 業 費
東 讃	東讃地区広域監視システム整備工事 1式 (工期：令和3年度～令和5年度、全体事業費 1,100百万円)	300
	前山ダム分水井更新工事 1式	200
	前山門入線導水管新設工事 ダクタイル鋳鉄管外 φ250～300mm L=800m	165
	新志度本線送水管新設工事 ダクタイル鋳鉄管 φ800mm L=270m (工期：令和4年度～令和5年度 全体事業費 150百万円)	77
小 豆	肥土山浄水場更新工事 1式 (工期：令和4年度～令和9年度、全体事業費 3,350百万円)	29
	小豆島町中山地区送水ポンプ整備外工事 1式	13
高 松	新岡本線送水管新設工事 ダクタイル鋳鉄管 φ800mm L=1,400m (工期：令和4年度～令和5年度 全体事業費 514百万円)	441
	御殿配水池築造工事 1式 (工期：令和3年度～令和6年度、全体事業費 1,100百万円)	390
	東部浅野線導水管新設工事 ダクタイル鋳鉄管 φ500mm L=350m (工期：令和4年度～令和5年度 全体事業費 307百万円)	147
中 讃	羽間配水池線送水管新設工事 ダクタイル鋳鉄管 φ200mm L=1,480m	126
西 讃	山本財田線送水管新設工事 ダクタイル鋳鉄管外 φ400mm L=380m	78

② 経年施設更新整備事業（50百万円以上 ○は耐震化関係）

（単位：百万円）

ブロック名等		施行計画等	事業費
東讃	さぬき	○鴨庄横井地区配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ200mm L=500m	55
		○大川産宮地区配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管外 φ200mm L=250m	51
	東かがわ	○国道377号外配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ250mm L=580m	95
小豆	土庄	○国道436号配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管外 φ300mm L=210m	135
	小豆島	○池田地区配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ150mm L=640m	74
高松	高松	浅野浄水場普通沈澱池築造工事外 1式 （工期：令和3年度～令和4年度、全体事業費 1,655百万円）	1,265
		○太田下町配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ600mm L=620m	432
		○元山町外配水管更新工事 鋼管 φ600mm L=90m	92
		御殿浄水場高圧受電設備更新工事 1式	80
		○庵治町配水管更新工事 配水用ポリエチレン管外 φ50～100mm L=1,090m	80
		橋谷第一ポンプ所外ポンプ設備更新工事 1式	65
		○香川町配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ150～200mm L=580m	65
		○国分寺町配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ75～100mm L=710m	65
		御厩配水池更新工事詳細設計外業務委託 1式	62

ブロック名等		施行計画等	事業費
(高松)	(高松)	一ツ内浄水場制御盤更新工事 1式	55
		○神在川窪町配水管更新工事 配水用ポリエチレン管 φ100mm L=640m	51
中讃	丸亀	○市道郡家善通寺線配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ800mm L=420m	176
	坂出	○谷町二丁目配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ400mm L=370m (注1)	55
	善通寺	○県道丸亀三好線配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ100mm L=680m	55
		○善通寺浄水場改修工事 1式	50
		○県道善通寺多度津線配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ200mm L=400m	50
	多度津	○北山配水池送水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ450mm L=800m (注2)	118
○町道2号線配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ150mm L=690m		55	
西讃	観音寺	○市道粟井駅南線配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ300mm L=700m	182
		○高屋町導送配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ100~400mm L=491m	107
広域送水管理センター		○中部浄水場排水処理機械設備更新工事外 1式 (工期：令和3年度～4年度、全体事業費 331百万円) (注3)	318

ブロック名等	施 行 計 画 等	事 業 費
(広域送水管理センター)	○東部浄水場1系-1沈澱池中機器更新工事 1式	230
	○中部浄水系丸亀本線送水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ450mm L=600m	225
	○綾川浄水系宇多津支線送水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ250mm L=590m	191
	○東部浄水系志度本線送水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ400mm L=340m	127
	○北山配水池送水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ450mm L=800m	(注2) 126
	○中部浄水場1-2沈澱池機械設備更新工事 1式	120
	○西部浄水系三野本線送水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管外 φ450mm L=175m	100
	○綾川浄水系綾川導水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ900mm L=170m	98
	○西部浄水系観音寺本線送水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ600mm L=165m	95
	○綾川浄水系飯山支線送水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ400mm L=500m	89
	○谷町二丁目配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ400mm L=370m	(注1) 61
東部浄水場監視カメラ設置工事 1式	50	

(注1) 中讃ブロック統括センター(坂出)と広域送水管理センターとの共同施工

(注2) 中讃ブロック統括センター(多度津)と広域送水管理センターとの共同施工

(注3) 工業用水道事業との合併施工

#### 4 危機管理対策

＜危機管理対策事業＞（令和4年度 主なもの）

（単位：百万円）

区 分	項 目	事業費	内 容	
共 通	ハード	緊急導水管路の整備（再掲）	147	○ 東部浄水場<広域>と浅野浄水場<高松>を結ぶ緊急導水連絡管の整備を進める。
	ソフト	水質検査体制の検討	1	○ （継続）西地区の設置場所について、現行の施設整備計画の精査の中で検討する。
		危機管理体制の整備・拡充（渇水・災害）	4	○ 日本水道協会中国四国地方支部合同防災訓練を実施する。 ○ 応急給水体制の整備・拡充を図る。 ・ 応急給水用資材（給水所で使用する給水タンク・給水袋）の整備 ・ 市町と連携して大規模災害時等の応急給水箇所の選定、住民周知を進める。 ○ 企業団本部の組織体制の強化を図る。
		水管橋の詳細点検	5	○ 令和3年度に目視による緊急点検を実施した水管橋のうち、重要管路について詳細点検を実施する。
渇 水	ソフト	水資源の有効活用の検討	1	○ （継続）渇水時における既存水源の有効活用及び配水エリアの水融通対策等について検討する。
地 震	ハード	管路、施設の耐震化（再掲）	6,207	○ 老朽化した基幹管路や浄水場施設等の耐震化を計画的に進める。
		水質検査室（川添浄水場）の耐震化	11	○ 耐震診断の結果を踏まえて、耐震補強設計を行う。
風水害	ハード	風水害対策施設整備	79	○ 浄水場等における停電対策として非常用発電機の更新整備を進める。 西部浄水場<広域>・中部浄水場<広域> <sup>(注1)</sup> ・東部浄水場<広域>
	ハード	水道施設の浸水対策	80	○ 浸水想定区域内に立地する水道施設について、浸水対策を進める。 綾川浄水場<広域>：（電気棟、上水ポンプ井）止水壁の設置等
合 計			6,535	

（注1）工業用水道事業との合併施工

5 債務負担行為（主なもの）

(1) 業務委託

① 料金関係

(単位：百万円)

事 項	内 容	期 間	限度額	年度別予定額				
				5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
検針・滞納整理等業務	・ 民間のノウハウを活用し、お客さまサービスや業務水準の向上・均一化を図るため、検針・滞納整理等の業務委託を行う。	令和5 ～ 9年度						
高松・東讃・小豆ブロック			2,115	423	423	423	423	423
中讃ブロック			1,115	223	223	223	223	223
西讃ブロック			1,090	218	218	218	218	218

(注) 3つに分割して契約を行う。

② 運転管理関係

(単位：百万円)

事 項	内 容	期 間	限度額	年度別予定額				
				5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
浄水施設等運転管理・維持管理業務	・ 機動的に動ける柔軟な組織体制を構築して、施設の効率的な管理やサービスの質の向上、危機管理体制や事業の持続性の確保を図るため、浄水場（場外施設を含む）の運転管理業務について、一括契約による委託を行う。	令和5 ～ 9年度	5,012 (5,075)	1,002	1,002	1,002	1,003	1,003

(注) ( ) は、工業用水道事業会計を含めた全体の限度額

(2) 施設整備

(単位：百万円)

事 項	内 容	期 間	限度額	年度別予定額				
				5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
肥土山浄水場更新工事	・ 肥土山浄水場の更新（小豆ブロック広域水道施設整備）を行う。	令和5 ～ 9年度	3,321	377	1,097	850	300	697

(注) 令和4年度の事業費29百万円と合わせて、全体事業費は3,350百万円

6 その他

(1) 基本計画調査

(単位：百万円)

事 項	事業費 (令和4年度)	内 容
統一料金調査検討	2	○ 令和10年度の料金統一に向け、検討に着手する。 ・ 16事業体の料金制度の現状分析、課題整理 ・ 企業団本部の組織体制の強化を図る。
次期施設整備計画検討	25	○ 次期施設整備計画の策定に向け、基礎資料の作成を行う。 ・ 広域水道施設整備計画（対象地区：東讃地区、西讃地区） ・ 経年施設更新整備計画（浄水場・配水池等の施設の更新、耐震化状況等）

(2) 香川用水関係

(単位：百万円)

事 項	全体事業費 (令和2～6年度)		令和4年度事業費		内 容
	うち 水道負担金		うち 水道負担金		
香川用水施設緊急対策事業	3,800	921	1,200	291	<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源機構が行う香川用水高瀬支線水路等の老朽化・耐震化対策事業について費用負担を行う。</li> </ul> <p>【企業団の水道負担分24.24%（広域送水管理センターが全額負担）】</p>



工業用水道事業会計

1 業務量

		㊿ 令和4年度	令和3年度		増 減	
			㊿ 2月補正後	㊿ 当 初	㊿ (㊿-㊿) 2月補正後比	㊿ (㊿-㊿) 当初比
給水事業所数 (事業所)		40	40	40	0	0
給水量	年間 (千m <sup>3</sup> )	20,153	20,772	20,679	93	△ 526
	一日平均 (千m <sup>3</sup> )	55.21	56.91	56.66	0.25	△ 1.45

2 予算見積  
(1) 概況

(単位：百万円)

事 項	収 入					支 出						
	④ 令和4年度	令和3年度		増 減		事 項	⑤ 令和4年度	令和3年度		増 減		
		② 2月補正後	③ 当 初	① (②-③) 2月補正後比	⑥ (④-③) 当初比			⑦ 2月補正後	⑧ 当 初	⑨ (⑦-⑧) 2月補正後比	⑩ (⑤-⑧) 当初比	
収益的 収 支	営業収益	754	780	773	7	△ 19	営業費用	689	746	725	21	△ 36
	(うち給水収益)	(754)	(780)	(773)	(7)	(△ 19)	(うち減価償却費)	(349)	(349)	(353)	(△ 4)	(△ 4)
	営業外収益	34	38	34	4	0	営業外費用	40	35	37	△ 2	3
	(うち長期前受金戻入)	(33)	(36)	(33)	(3)	(0)	(うち企業債利息)	(10)	(10)	(12)	(△ 2)	(△ 2)
							予備費	5	5	5	0	0
計	788	818	807	11	△ 19	計	734	786	767	19	△ 33	
収支差引	54	32	40	△ 8	14							
資本的 収 支	企業債	300	78	300	△ 222	0	建設改良費	784	355	545	△ 190	239
	国庫補助金	16	0	0	0	16	企業債償還金	43	45	45	0	△ 2
							他団体借入金償還金	68	87	87	0	△ 19
							予備費	1	1	1	0	0
	計	316	78	300	△ 222	16	計	896	488	678	△ 190	218
収支差引※	△ 580	△ 410	△ 378	△ 32	△ 202							

(注) 「収支差引※」は、損益勘定留保資金等で補填

【主な増減理由】

●令和4年度当初予算（令和3年度当初予算比）

<収益的収支>

○収入（⑩）

- ・ 19百万円の減少は、**給水収益**が契約水量の減により19百万円減少することによる。

○支出（⑪）

- ・ 33百万円の減少は、**委託料**が34百万円減少、**修繕費**が2百万円減少、**負担金補助及び交付金**が2百万円増加することによる。

<資本的収支>

○収入（⑫）

- ・ 16百万円の増加は、**国庫補助金**が16百万円増加することによる。

○支出（⑬）

- ・ 218百万円の増加は、**建設改良費**が239百万円増加、**他団体借入金償還金**が19百万円減少、**企業債償還金**が2百万円減少することによる。建設改良費の内訳としては、工事請負費が259百万円増加、用地費及び補償費が3百万円増加、使用料及び賃借料が1百万円増加、負担金補助及び交付金が24百万円減少することによる。

●令和3年度2月補正後予算（令和3年度当初予算比）

<収益的収支>

○収入（⑭）

- ・ 11百万円の増加は、**給水収益**が7百万円増加、**長期前受金戻入**が3百万円増加することによる。

○支出（⑮）

- ・ 19百万円の増加は、**資産減耗費**が20百万円増加、**委託料**が12百万円増加、**減価償却費**が4百万円減少、**修繕費**が3百万円減少、**企業債利息**が2百万円減少することによる。

<資本的収支>

○収入（⑯）

- ・ 222百万円の減少は、内部留保資金の活用により**企業債**が222百万円減少することによる。

○支出（⑰）

- ・ **建設改良費**190百万円の減少は、工事請負費が191百万円減少することによる。

### 3 主要施設整備事業

#### (1) 概況

(単位：百万円)

		㉑ 令和4年度	令和3年度		増 減	
			㉒ 2月補正後	㉓ 当 初	㉔ (㉒-㉓) 2月補正後比	㉕ (㉑-㉓) 当 初 比
事業費	経年施設更新整備事業	680	266	455	△ 189	225
	その他建設改良事業	104	89	90	△ 1	14
計		784	355	545	△ 190	239
財 源	企業債	300	78	300	△ 222	0
	国庫補助金	16	0	0	0	16
	自己財源	468	277	245	32	223

(注) 事業費のうち「その他建設改良事業」には、香川用水施設緊急対策事業費負担金を含む。

(2) 施行計画（令和4年度 主なもの）

① 経年施設更新整備事業（50百万円以上 ○は耐震化関係）

（単位：百万円）

センター名	施行計画等	事業費
広域送水管理センター	○中部浄水場排水処理機械設備更新工事外 1式 （工期：令和3～4年度、全体事業費 187百万円） (注)	180
	府中ダム放流用ゲート機側操作盤更新工事 1式	80
	○綾川浄水系配水幹線（第2工区）配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ800 L=180m	137
	○中部浄水系ライオンケミカル線配水管更新工事 ダクタイル鋳鉄管 φ150 L=200m	50

（注）水道事業との合併施工

② 危機管理対策

○ハード対策

（単位：百万円）

項目	事業費	内容
地震等災害対策の推進（再掲）	367	○配水幹線等区間における配水管路や浄水場施設等の更新・耐震化を計画的に進める。
風水害対策施設整備	32	○浄水場等における停電対策として非常用発電機の更新整備を進める。 中部浄水場（注）

（注）水道事業との合併施工

4 債務負担行為（主なもの）  
業務委託

（単位：百万円）

事 項	内 容	期 間	限度額	年度別予定額				
				5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
浄水施設等運転管理・維持管理業務	水道事業と合わせて委託を行う。	令和5 ～ 9年度	63 (5,075)	12	12	13	13	13

（注）（ ）は、水道事業会計を含めた全体の限度額

5 その他  
香川用水関係

（単位：百万円）

事 項	全体事業費 (令和2～6年度)		令和4年度事業費		内 容
		うち工業用 水道負担金		うち工業用 水道負担金	
香川用水施設緊急対策事業	3,800	154	1,200	49	<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源機構が行う香川用水高瀬支線水路等の老朽化・耐震化対策事業について費用負担を行う。</li> </ul> <p>【企業団の工業用水道負担分4.04%】</p>

〔予算外議案〕

第5号 香川県広域水道企業団職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例議案

- デジタル化の一層の推進を図るため、職員のサービスの宣誓の実施方法について、企業長の面前で宣誓書に署名しなければならないとする規定を削除し、宣誓書を企業長に提出することのみを規定する等の所要の改正を行うもの。
- 施行期日 令和4年4月1日

第6号 専決処分事項の承認について（香川県広域水道企業団企業長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例）

- 企業長が指定する副企業長の受ける期末手当の支給割合の改定を行ったもの。

区 分	6月	12月	計
現 行	167.5/100	167.5/100	335/100
令和3年度	167.5/100	157.5/100	325/100
令和4年度以降	162.5/100	162.5/100	325/100

※下線部が改定箇所

- 専決処分日 令和3年11月26日

第7号 香川県広域水道企業団監査委員の選任同意について

- 令和4年3月31日で任期満了となる監査委員の後任者として石垣佳邦を選任することについて地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第39条の2第5項の規定により議会の同意を求めるもの。

第8号 香川県広域水道企業団監査委員の選任同意について

- 令和4年3月31日で任期満了となる監査委員の後任者として武田宏之を選任することについて地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第39条の2第5項の規定により議会の同意を求めるもの。





